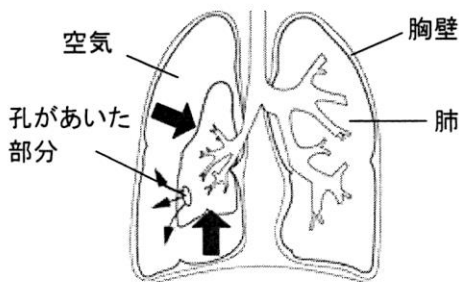


気胸とは



肺は、肋骨や筋肉で囲まれ「胸壁」の内側に隙間なく納まっている。何らかの原因で肺に孔があくと、肺が縮み、もれた空気が胸壁と肺の間にたまる。(図では左側。患者自身では右側。)

気胸は、若い男性と中高年に起きやすいが、年齢によって原因は異なっている。

◆自覚症状

気胸が起ると、肺が縮み、十分な呼吸が行えなくなりま
す。そのため、最も多い自覚症状は「突然の呼吸困難」です。
「胸の痛み」や「動悸」が起ることもあります。胸の痛みは、
縮んだ肺が胸壁から剥がれる際に、胸壁の神経を刺激する
ために起こります。剥がれてしまうと、痛みは消えます。動
悸は、肺が虚脱して肺の動きが低下するため、呼吸困難にな
って酸素が不足し、酸素を補うために心臓の鼓動が速くなる
ことや、不安感の増強などが原因で起こります。

息苦しさは危険信号
気胸 (ききょう)

【代表的な3つの治療】

①初期治療

- 安静
- 胸腔ドレナージ

②根本的治療(手術)

- カバリング

③手術ができない場合の治療(中間的治療)

- カテーテルを使う方法
- 気管支鏡を使う方法

年齢により治療法を選択する必要があります。例えば15歳以下で気胸を起こした場合などは、手術後も肺のう胞が次々とできる可能性があるため、ある程度成長を待ってから、手術をするようにします。また、高齢者では、手術以外の方法を選択する場合もあります。

起こりやすい年齢層

気胸は、女性よりも男性に起こりやすく、男女の比率は、一般に8～10対1だとされています。起こりやすい年齢層は「若年層」と「中高年層」の2つです。

●若年層

15～25歳くらいで、体形的には背が高く、細身の人に多く見られます。若年層の場合、もともと持っている肺の病気が原因で起こる気胸は少なく、「肺のう胞」が肺の表面にでき、ここに孔があいて気胸が起こるケースがよく見られます。



●中高年層

60歳以上の男性に多く見られます。この年代では「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」や「間質性肺炎」などの肺の病気が原因で起こることが多く、その他「ぜんそく」「肺炎」「結核」「肺がん」などの病気が原因の場合もあります。

今月のスタッフのつぶやき

接骨院 孝心

検索

<http://kousin-hamamatsu.com>

導入して暫く経つES-530。痛みを軽減するモードのほかに炎症部位から発生するブラジキニンやプロスタグランジンなどの発痛物質を抑制したり細胞内のミトコンドリアに働きかけATP産生を促し治癒を促進させる3DMENS(スリーディーメンズ)があります。急性の痛みやケガに威力を発揮!



食欲の秋が来ちゃいました。2月頃から夏に向けてダイエット計画をし運動と禁酒で目標を達成しました。でも、夏のビールがおいしい時期に1本飲みだしたら止まらなくなって、もう元に戻りつつあります。つぎは秋味の誘惑に負けそうです。(＞_＜)(理枝)



先月は、小4の次男の野外活動がありました。一泊二日なのに着替えや雨具などでバックがいっぱいでした。小さな体で重そうにバックを担ぐ姿を見て心配でしたが本人はなんてことない顔をして帰ってきました。(真由美)



むちうち症(交通事故)、首や肩腰・膝の痛み、スポーツ障害、ねんざ、打撲、肉ばなれ、肩コリなどお気軽にご相談ください。

接骨院 孝心

検索

NPO法人 東洋医学推進協会

接骨院 孝心

マッサージ・はり・きゅう院併設

Tel. 053(451)4523

交通事故(自賠責)・健康保険

〒432-8023

浜松市中区鴨江1-37-17

